

(中国乙18)  
百日咳 発生推移  
= 2025年12月度 =

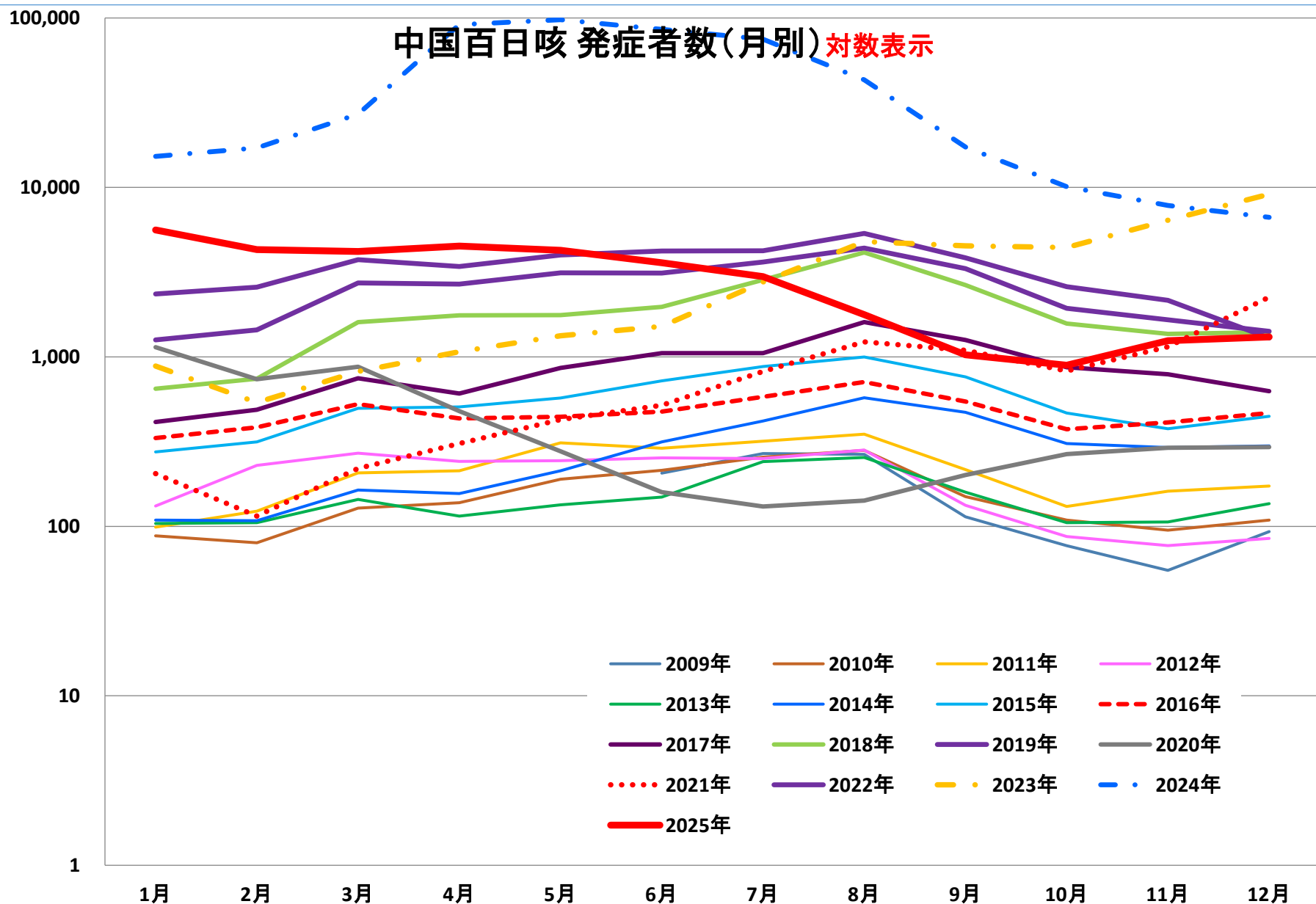
発表: 2026年1月9日 国家NDPCA

作成: 2026年1月12日  
日中医療衛生情報研究所

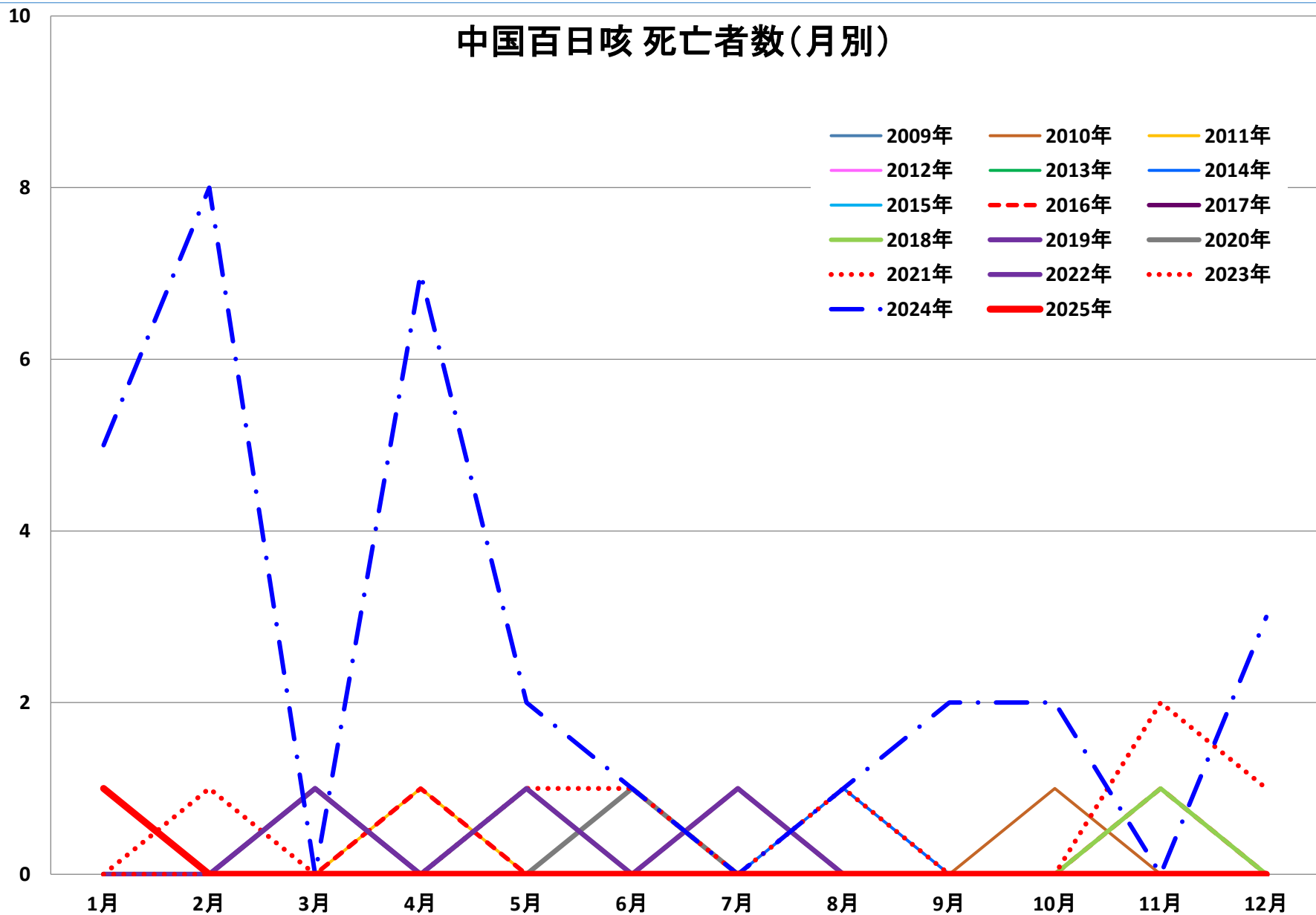
## 乙18:百日咳

- あまり季節との関連性はなく、
- 乳幼児特に1歳以下の罹患、死亡が多いが、
- 台湾では「生後3か月以下の乳児(51%)が最多だが、20歳以上の症例(36%)がこれに次いでいる」  
(7月16日台湾疾病管制署発表)
- 日本では、2016年に15歳以上の患者が全体の25%を占めた(定点小児科からの報告ベース)こともあるという、
- 中国では2023年末から圧倒的に患者数が増加し、まさに“China has been skyrocketing the number of incidents”
- 2024年は476,690例(確報)と爆増。
- 2025年はやや減少したが累計ベースで35,679例と歴代4位の記録に。

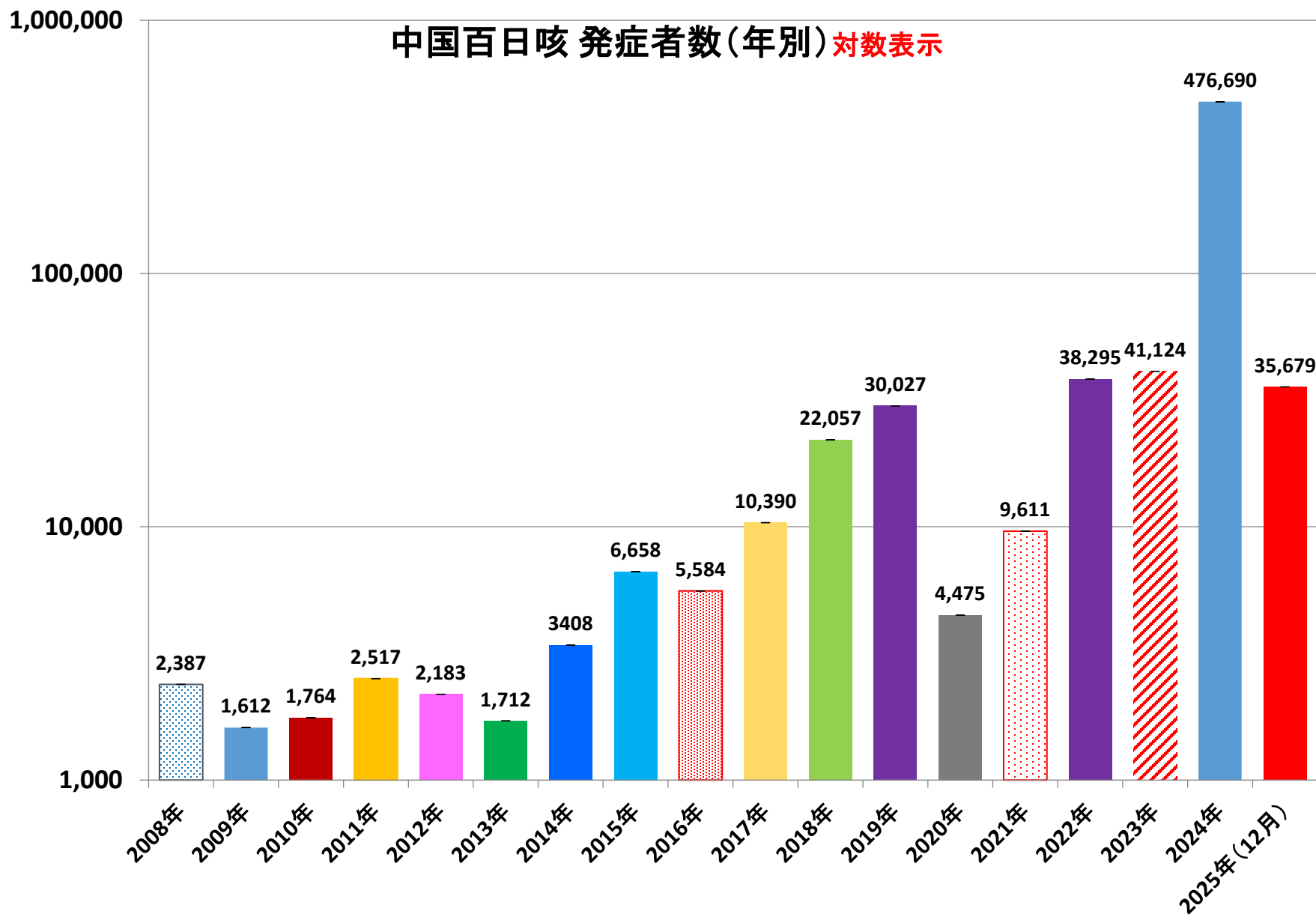
# 乙18：百日咳発症者数(対数表示)



## 乙18:百日咳



# 乙18：百日咳（対数表示）



# 乙18：百日咳

